

広報 皐ヶ丘

発行 皐ヶ丘自治会
皐ヶ丘 3丁目 142番地
電話/FAX 64-2834
Email stkjichi@ma.ctl.ne.jp
皐ヶ丘自治会ホームページ
<http://www.ctl.ne.jp/~stkjichi/>

広報「皐ヶ丘」は毎月約 1300 世帯で読まれています。会員の皆様から載せたい情報・記事・写真などを募集しています。情報・記事・写真はタイトル右のメールアドレスへお願いします（情報は WORD か EXCEL で）。締め切りは毎月 15 日です。なお、原稿は審査をさせていただきます。

喜寿 おめでとうございます！！

9月14日、今年度、喜寿（77歳）をお迎えになる79名の皆様に、自治会よりお祝いの記念品を配布いたしました。配布は各丁目担当の民生委員さんをお願いいたしました。

「まー、どうしましょう。恥ずかしいわ〜」とおっしゃりながらも皆さん満面の笑みでした。

いつまでもお健やかに過ごしてください。



お知らせ&お願い

第5.6回「有志による草刈り活動」を実施！ ☆環境部

～感謝！ ご協力して頂ける方が増えています！！～

酷暑が続きますが、雑草の伸びも凄まじいです。9月度は住民の皆様もご参加頂いた有志草刈りを2回開催しました。

第5回は、9月8日（日）8：00から、①7丁目緑道、②7丁目東側小公園を約**30名**の方々に参加頂き、第6回は、9月16日（月）8：00から、9丁目北側外周歩道を約**33名**の方々に参加頂き実施しました。

毎回多数の近隣の方々にご参加頂き、短時間で広範囲が非常に綺麗になっています。引き続き、皆の力で皐ヶ丘を「緑豊かで住みよい街」にしていきたいと思います！



<7丁目 緑道>

<7丁目 東側小公園>

<9丁目 北側外周歩道>

【次回告知】

第7回は、10月5日（土）8：00から、①5丁目北東側外周サツキ剪定、②5丁目東側小公園、2か所の予定です。近隣住民の方でご参加頂ける方は、8：00に5丁目東側小公園にご参集お願いいたします！

『皆さんからの自治会費はより良い街づくりに使われています』

文化部長 佐古 則男

「阜ヶ丘の現状認識 3つの視点」

①人口推移 買物、病院、銀行、バス等、今の当たり前が変化するか？

	2015年	2024年	2015比
0-14歳	476人	310人	65% → 将来への影響大
15-64歳	2622人	1824人	70% → 大学、就職での転居、高齢化
65歳+	993人	1410人	142% → 高齢者夫婦、独居世帯増加
合計	4091人	3544人	87% → 年50人減少
世帯数	1502世帯	1528世帯	102% → 2世帯住居の増加
高齢化率	24%	40%	→ 可見市29%、桜ヶ丘46%

→若い世帯が転入し、高齢者も安心して暮らせる街へ

②空家・空地 9/1時点 20区画に1区画が空家・空地

	空家	空地
空家	58軒	33カ所
土地・中古住宅購入者	各2-3人/年	30代以下、子供10歳以下
購入理由	実家が近く、子供の面倒を見てくれる ((有)ベストホームさん実績)	
	圧倒的人気エリア、教育環境、安全な子育て環境	
	「自分が育った思い出の街で再び暮らす」	

→優れた街並み、景観と生活インフラの維持が入居条件のベースです

③自治会員 9/1時点 14軒に1軒が未入会 (入会のお願ひ文書送付済み)

	自治会員	非自治会員
自治会員	1267軒	94戸 (非居住、休会22戸除く)

→住環境の維持、安全・安心な暮らしにはコストもかかります

阜ヶ丘の現在・将来ために活動する事が、一人一人のメリットに繋がる
住民参加・ボランティア・協力団体活動との更なる連携が必要になる

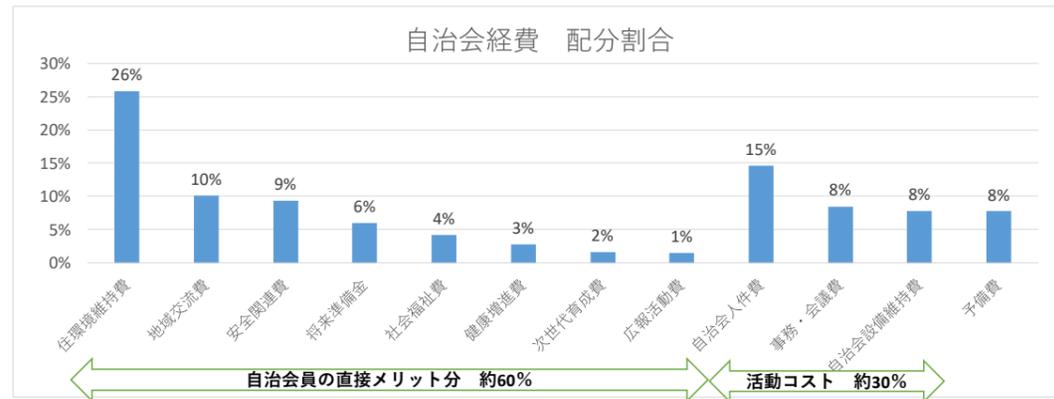
「自治会費の使い途」 (令和6年予算)

収入	金額	構成比
前期繰越金	200万円	15%
会費・入会金	928万円	70%
可見市補助金等	190万円	14%
集会所使用料等	15万円	1%

【合計】1333万円

定期預金解約金500万円 (3年に一度の法面剪定費210万円に充当) 除く 経費からも法面剪定費210万円は除いて計算 防犯管理費は除く

1333万円を何に使う計画なのか？



自治会員に直接的にメリットがあることに約6割、その活動を支えることに約3割を支出しています。

(補足) 協力団体への支援金 (12%を配分)

自治会自らではできない必要な活動に対して支援金を供出しています

自治会人件費

事務職員人件費 (平日1名常駐) 135万円、役員人件費 (106名) 61万円

事務・会議費

コピー機リース代、事務用品代が大半です

自治会設備維持費

1丁目、3丁目集会所の水道光熱費が、約9割を占めます

予備費

臨時出費に備えた費用で使わなければ、翌年に繰り越します

「自治会の活動」

(主な活動)

①環境維持活動 【優れた町並み、景観の維持】

- ・阜ヶ丘の約10%の8万㎡の公園・緑道・歩道・緑地の草刈・剪定
内、自治会作業 面積 3.4万㎡ (地区センター敷地の2倍強に相当) → 役員、有志、近隣住民の合同で実施
団体・業者委託面積 4.6万㎡ (地区センター敷地面積の3.0倍相当) → 草刈 年2回 剪定 年1回

住民応援者が増えてます



・春、秋の花いっぱい運動推進

→ 役員、住民協力 年2回の草刈、花苗植え

・ゴミ集積場管理作業

→ 防護ネット 阜ヶ丘 全29箇所に設置 (委託)
→ 役員巡回・相談受付により、トラブル・ルール逸脱防止

②地域交流活動 【住民の交流の場、子供の思い出づくり】

- ・阜ヶ丘夏まつりの開催 → 住民の1/3 1200人、中学生以下の3/4が来場
延べ110名の役員が協力して準備・撤去作業従事
- ・桜ヶ丘ハイツ秋まつりへの協力 → 26名の応援人員の派遣と開催支援金供出 (予定)

夏まつり開催
ありがとう



③安全関連活動 【安全・安心な住環境】

・防犯灯の設置、点検・管理

防犯灯377基の点検・管理 (年2回) → 3世帯に1基の割合で設置
防犯カメラ3台設置 → 要所に設置して、録画

・登下校の見守り

小学生の笛吹き横断は、珍しく、素晴らしい伝統 (警察評価)
防犯役員により、年10回の立哨、交通安全協会と協力
交通安全協会への役員派遣、支援金供出

犯罪、事故の少ない地域です



・防災関連の点検・管理と訓練

防災備品・備蓄食品・消防設備・可搬ポンプ点検 (各年2回)
年1回 防災訓練の実施、毎月 役員の防災勉強

・協力団体への支援金

犯罪・事故が少ないのは、自治会・協力団体活動の結果 (警察評価)
桜ヶ丘ハイツ自警団 → 週に1回 2人で桜ヶ丘ハイツ内パトロール、3人で下校見守り
桜ヶ丘ハイツ社会福祉協議会 → 家事支援 (延べ100件/年)
交通安全協会桜ヶ丘支部 → 月2回 4カ所で集団登校の見守り
桜ヶ丘地区青少年育成市民会議 → 月1回 夜間巡回・下校見守り
第4分団第3部消防団 → 地域の防火・防災活動 (火災・災害の少ない阜ヶ丘)、大規模災害に備える

火災の少ない地域です



④将来準備活動 【計画的な資金計画・準備】

- ・法面整備 (3年に1回地度実施)
- ・集会所修繕用に積立

⑤社会福祉活動 【生きがいづくり、安心安全な暮らしの支援】

・高齢者の見守り

民生委員と連携した見守り (年1回 独居高齢者訪問) ・災害時要援護者情報共有

・慶弔費の支給

弔慰金10000円、5000円 出産祝い金30000円の支給

・協力団体への支援金

桜ヶ丘ハイツ地区社会福祉協議会 → 移動支援会員 (延べ3147名/年)、家事支援 (延べ100件/年)
喜寿の集い: 喜寿を迎えた方に、シャインマスカットを贈呈
阜ヶ丘クラブ → シニア層の生きがいづくりのためのサークル、イベント活動・勉強会の開催、会員51名

年3147人が利用しています



⑤健康増進活動 【健康寿命を (特に足腰) 伸ばす】

・春、秋のスポーツ大会

役員、学生・団体ボランティアも参加して30年続く活動を人的支援

・協力団体への支援金

桜ヶ丘体育振興会 → 春・秋のスポーツ大会 市内最大の1650名参加 (住民の1割が参加)
グランドゴルフ大会、体力測定、ワンバウンドバレー普及

健康意識の高い地域です



おはよう
ございます



⑥次世代育成活動 【青少年の健全な育成支援】

・協力団体への支援金

桜ヶ丘地区青少年育成市民会議 → 朝のあいさつ運動、地域行事への参加支援、地域の安全運動
阜ヶ丘連合子供会 → イベントを開催し、学年を超えた仲間・思い出づくり、心身の成長発達を支援

⑦広報活動 【会員利益に繋がる有益・適時情報の提供】

・広報「阜ヶ丘」の発行

月1回 A4サイズ4面 自治会活動、防災情報、イベント情報を分かり易く提供

⑧その他活動 【個々・街の問題解決】

・事務所での会員の相談窓口

困りごと等の相談対応 (平日) 年間1800件対応

・行政とのパイプ役

補助金の申請 (190万円/年) 地域課題の連絡・相談・陳情

・貸し出しサービス

草刈・剪定機器の無料貸し出し、コピー機利用、集会所利用

👉 防災ワンポイントアドバイス 👉

携帯・簡易トイレの利用方法

災害時や、ライフラインが止まった場合などもトイレを利用することが出来なくなります。食べることは我慢できても、出すこと（排泄）は我慢できません。

携帯トイレの準備は重要。



①便器に汚物袋をかけて、用をたし凝固剤を入れます。
(凝固剤は、用を足す前に入れる物と、用を足してから入れる物の2種類があります。)

②空気をしっかり抜いて、廃棄します。可児市のごみ収集が再開するまでは、庭などに置いておいてください。

Q：携帯・簡易トイレいくつ準備しておけば良いの??

A：平均で1日5回排泄すると言われています。

家族の人数分×5回×1週間分は準備しましょう。

(1か月分の備えがあるとより安心です)

いざ！という時、あなたの命を守る手段になりますよ。ご安全に！

(副会長 防災・防犯担当 防災士：藤村祐子)

阜ヶ丘近辺の

歴史風土記 6

齊藤 千勝

おちよぼ稲荷神社の鎮座されます天が峯は、皇祖第十二代景行天皇が美濃の地へ行幸された折、ここに足をおとめになったとの伝説と由緒あるお宮で、羽崎の一段高い風光明媚な景勝地にあります。この地は今を去ること六百数十年の昔、後醍醐天皇の元享(げんこう)年間日野資朝(すけとも)郷が勅命を奉じて山伏姿で東国に向かわれる途中、美濃の武士土岐頼貞・多治見国長等と山頂において会合をもたれたうえ、洞窟内で北条氏討伐の密議もされました。その時資朝郷の捧持(ほうじ)してこられた山城の国伏見稲荷神社のご神霊のご分霊を、羽崎の豪族にとこしえに捧持せよと譲り渡されました。これをおちよぼ稲荷神社として、ここ天が峯に安置し奉られたところ、多くの人々の災いを除き福を授ける開運の神として御利益があったと言い伝えられます。

後、皇祖第百二十代仁孝天皇の天保五年羽崎村庄屋林唯右衛門・矢木小文治の二人は伏見稲荷神社のご分霊を請い迎え、翌六年神のお告げをいただいて、おちよぼ稲荷神社に合祀しました。すると境内には白尾の大狐が棲みつき毎夜のように羽崎部落へ通ったという狐道もあり、また、狐が足を痛めて困っていたのを村人が見つけ、ねんごろにいたわってやりましたところ、厚くこの恩に報いたという言い伝えもあります。

その後大東亜戦争・本土決戦の折、国是により付近一帯の山々は地下工場建設が計画せられ、このように靈験あらたかな神域も山麓を爆破されるという災難に会い、地盤は緩み社殿は傾き、玉垣は崩潰に瀕し、境内の神木さえも乱伐されて、神使いの狐族も離散し、荒廃の極みに達しましたが、羽崎の有志者が発起して現在の神殿を再建し神威を安んじ奉りました。ここは海津のおちよぼさんの先輩です。[参考「可児市・天が峯おちよぼ稲荷神社」等] 次回は愚溪寺です。

